



IRは住宅産業界に何をもたらすのか・・・？

* IRとは… 地方自治体の申請に基づき**カジノの併設**を認める区域を指定され 設置される、国際会議場・展示施設などのMICE施設、ホテル、商業施設、レストラン、劇場・映画館、アミューズメントパーク、スポーツ施設、温浴施設、等と一体になった**複合観光集客施設**のこと。

IRの名目は外国人訪問者の為の施策

海外では観光立国の第一の施策としてIRが展開しています。

フランスは外国人訪問者数が年間8000万人を超える世界一の観光立国と言われておりますが実際には、訪問者数で劣るアメリカやスペインに収益の面で何倍も遅れをとっています。

実は、フランスにはIRの施策がないことが課題とされています。

勿論現在の日本でも、世界的に有名なアメリカ・ラスベガスのようなIRやシンガポールのマリーナベイサンズのようなIRはありません。

今後、複合環境集客施設としてどのように日本経済は展開していくのか

また、なぜ今の時期にカジノ法案について取り沙汰されているのか

解説します

外国人訪問者数は関係ない、大事なものは国際的なサービス

フランスは外国人訪問者数が多くても、滞在日数が少ない、訪問者がお金を使わない

スペインでは外国人訪問者数がフランスより少なくても滞在日数が多い

各地域自治体を筆頭に観光施策についてそれぞれ戦略を立てている為、滞在を促しやすい

アメリカでは何といてもカジノでの収益が大きく、富裕層に向けたサービスが充実している

日本に今進めようとしている観光立国の施策は上記のスペインやアメリカのような手法を取り入れシンガポールのような島国としての手法も取り入れて展開すること

IRが日本経済・地域経済に及ぼす可能性

フランスは外国人訪問者数で世界一だが

アメリカに使うお金の量で3倍以上も差が広がっている

フランスにもカジノはあるが

違いはカジノとコンベンションが一体となったIRがない

フランスは訪問者が多いが滞在する日数が少ない

スペインはフランスよりも訪問者数が少ないが、滞在数が多い旅行者が多い為 使われる金額も多くなり

スペインのインバウンド6割はリピーター

日本も2024年夢洲にIR施設を展開予定